

主な活動の紹介

○地域から学校への支援（地域人材の活用）

1年生では「働く人に学ぶ」、2年生では「卒業生に学ぶ」ということで地域にお勤めの方や卒業生に職業紹介や高校紹介などをしていただき、将来について考える機会をつくっています。また、家庭科の調理実習に地域の食生活改善推進員にゲストティーチャーとして参加をしていただいています。



働く人に学ぶ



卒業生に学ぶ



調理実習

○学校から地域への支援（公民館との連携）

夏休みには、小・中学校と公民館が共同で佐波川の清掃を企画し、地域の方とともに活動を行ったり、公民館が主催する図画工作教室や科学工作教室に中学校の美術部員・科学部員が指導者として参加したりしています。また、秋には地域の文化祭等で吹奏楽部が演奏を披露したり、美術部や科学部が作品の展示や発表を行ったりもしています。



佐波川清掃



科学工作教室



図画工作教室

○小中連携

小中連携では、5校連絡協議会、養護教諭連絡会、生徒指導連絡協議会、教育相談担当連絡会などを行い、情報交換と共通理解に努めています。また、小・中合同の研修会を始め、小・中での授業交流（出前授業など）・行事交流を積極的に行ったり、6年生の学校見学や部活動見学などを企画したりし、中1ギャップの解消にも努めています。さらに、中学校の「学校だより」を小学校の保護者にも配付し、中学校からの情報発信にも努めています。



授業参観



小・中合同研修

成果と課題

今年度は地域の食生活改善推進員と新たなネットワークを構築することで、家庭科の授業の充実を図ることができました。しかし、このようなネットワークづくりは学校だけでは限界があり、やはり地域人材と学校をつなぐコーディネータ役が必要になります。学校運営協議会を中心に地域との連携を図り、ネットワークを広げていくことがこれからの課題です。

今後の取組

今後は学校運営協議会を中心に既存の取組や組織を体系化するとともに、地域の人的・物的資源の新たな効果的な活用を検討していき、子どもたちの育ちや学びを地域とともに支えていきたいと考えています。また、地域からの支援を受けるだけでなく、学校からも地域へ積極的に向き、地域との絆をより強いものにしていき、地域の思いやニーズを共有できる地域に開かれた学校経営に努めていきます。